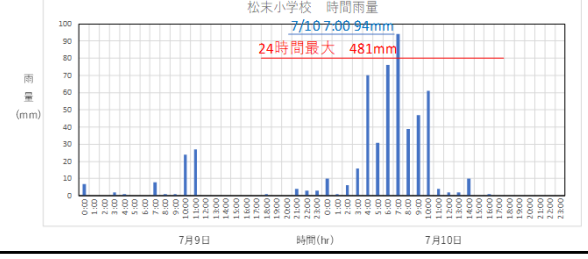
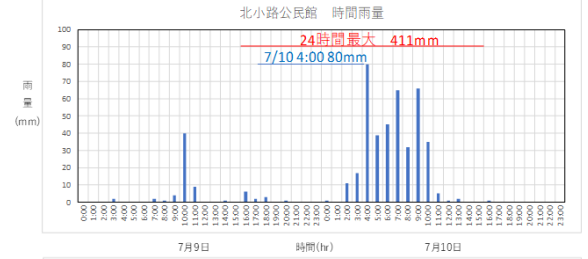
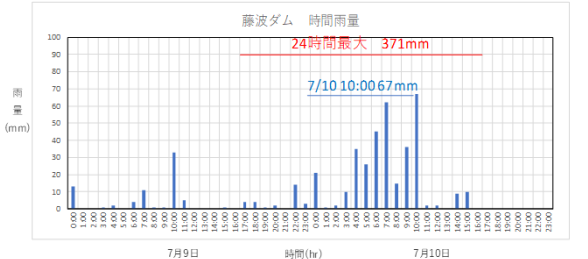
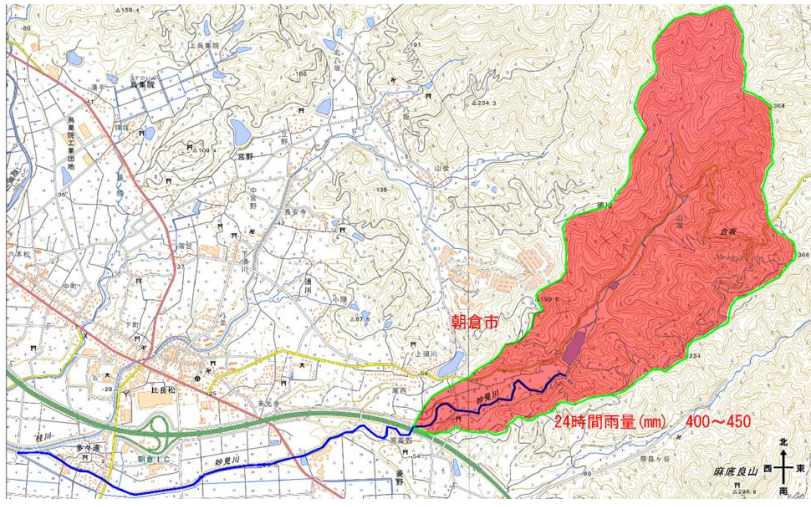


事業箇所位置図



雨の状況

- 妙見川に近接する雨量観測所は『北小路公民館』であり、1時間雨量で80mm、24時間雨量約411mmと非常に激しい降雨となった。
- この降雨は7時間程度に集中しており、その降雨量は419mm程度であり、他の地域に比べて最も強い降雨強度であった。
- この異常な自然現象による当該河川の被災は、**現地において河床低下による護岸崩壊の被害や、最大で河岸高の8割程度以上の洪水痕跡を確認するなど激甚な豪雨災害であった。**



事業概要工程表

【妙見川】

| 作業項目 | 詳細 | R5年度 | | | R6年度 | | | R7年度 | | | R8年度 | | | | |
|-----------|------|------|---|---|------|----|---|------|---|---|------|----|----|---|---|
| | | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 1 | 3 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 1 | 3 |
| 改良復旧事業検討 | 概略設計 | | | | | | | | | | | | | | |
| 河道(護岸)設計 | 詳細設計 | | | | | | | | | | | | | | |
| 河床低下対策工設計 | 詳細設計 | | | | | | | | | | | | | | |
| 河川災害関連工事 | | | | | | | | | | | | | | | |

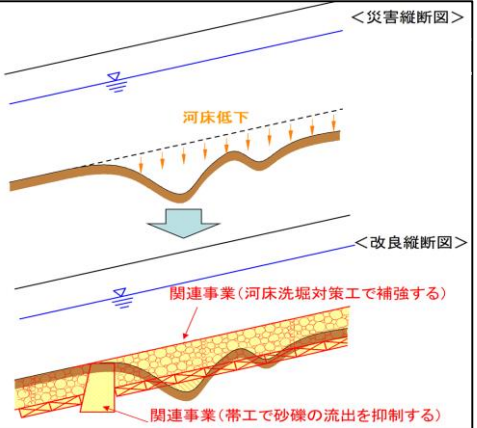
被災状況



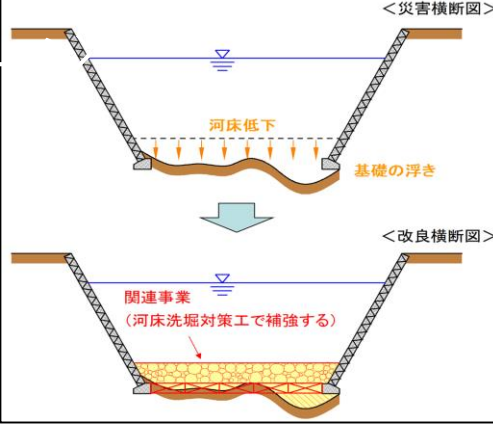
整備イメージ

《効果》

- ・帯工、護岸工を設置し、河床の低下を防止し、河床の安定化を図る
- ・河床の粗度向上により、高速流の派生を抑制する



急流区間である当該被災区間は、高流速の影響で掃流力が大きくなり、河床低下および局所洗堀による護岸崩壊が生じている。河床洗堀対策工(根固めブロック+砂礫埋戻し)により補強するとともに、砂礫床による粗度の増大を図り、高速流の発生を抑制する。また、帯工による砂礫の流出を抑制し、再度災害を防止する。



事業の進捗状況

